

# 自動音楽構築システム『AISO』に、zezecoが楽曲参加。コンセプト・アルバム“朧光(obscure light)”を2月29日リリース。

株式会社エコーズブレスが運営する自動音楽構築システム『AISO』のアーティストコラボレーション企画第6弾として、downyの青木ロビンとテクノアーティストmanukanによる二人組ユニット『zezeco』が楽曲参加する。2月16日(金)から予約開始、2月29日(木)から本発売・購入者へ順次発送を開始する。数量は50個限定。AISOオンラインショップから購入が可能。

AISOは、「音のカケラ」をプログラムがリアルタイムかつランダムに組み合わせることで、“終わらない音楽”を構築し続けるシステム。ときに数百点に及ぶ音のカケラ群の中から選ばれる組み合わせは、無限に近いバリエーションを生成する。楽曲の全体構想から音源一つひとつの制作にいたる全てはミュージシャンが手がけており、自動構築といえども、ミュージシャンの創造性に比重を置いていることはAISOならではのユニークなプログラム設計。これまでに、Koji Nakamura、duenn、Go hiyama、HIROSHI WATANABE aka KAITO、OKADA TAKURO、Black Boboi、GuruConnect、宮内優里、TARO NOHARA aka やけのはら、といった個性あふれるミュージシャンと多彩なコラボレーションを行ってきた。

今回、zezecoが制作した『朧光(obscure light)』は、2022年に発表した1stアルバム『燦然』の裏面の位置付けとなる。自動構築による刺激・閃きを糧に、zezecoの新たな領域を開拓する実験的な意欲作。ランダム性の中でも揺らぐことのない細部に至る構築美、叙情的で繊細なメロディーが結ぶ音像は、未知との邂逅の驚きや、時空を超える旅情を感じさせる。BGMユースも視野に入れた豊富な展開にも注目してほしい。

2024年2月16日予約開始／2月29日リリース

## zezeco / 朧光(obscure light)

### ■ 試聴音源

【ダイジェスト版 Soundcloud URL】  公開可能です  
<https://soundcloud.com/aiso-ooo/zezeco-obscure-light-aiso>

### ■ 商品詳細

- 内容物：本体(microSDカード16GB)  
再生機器(Raspberry Pi4 ModelB 4GB)  
ACアダプター  
取扱説明書  
保証書
- サイズ：9.4cm × 6.9cm × 3.6cm
- 重さ：130g
- 電力：最大15w
- 価格：62,000円(税込)



### ■ 予約購入ページ

【AISOオンラインショップ URL】  
<https://soundtimes.theshop.jp/categories/2807480>

### ■ 最新情報

【AISO 公式Twitter】  
[https://twitter.com/AISO\\_BGM](https://twitter.com/AISO_BGM)

## Profile zezeco

<https://zezeco.info/>  
[https://twitter.com/zezeco\\_official](https://twitter.com/zezeco_official)  
[https://www.instagram.com/zezeco\\_official/](https://www.instagram.com/zezeco_official/)



変拍子を駆使したハードコアサウンドで日本のオルタナティブロックシーンを牽引するポストロックバンドdownyの中心メンバー・青木ロビンのサイドプロジェクト。RYUKYUDISKOへの参加や海外アーティストのremixなどを多数手掛け活躍するテクノアーティストmanukanとの二人組ユニット。ノイズやダブの要素を取り入れたエレクトロを軸にして繊細なメロディーと緻密に構築されたリズムが絡むフリーキーな構成。演奏とプログラミングの組み合わせに主眼が置かれたミニマルなタッチで複雑な音像を描き出すメランコリックなエレクトロニック・ワールド。オランダのアーティスト（彫刻家、物理学者）テオ・ヤンセン展への起用など、クールな電子音とリバーブを多用した有機的サウンドのテクスチャーは国境を越えた支持を得ている。国内外で様々なショーやイベントに楽曲提供を手掛けミックス、アレンジや環境音楽の製作など幅広く活動。

### 【2022年1月19日 1st Album『燦然』リリース】

現代のトリップホップを探究する実験性。閉塞感と開放感の狭間を幻想的に浮遊するグルーヴは陰影の付いた儂げでドリーミーな音響。中野雅之（BOON BOON SATELITTES）もミックスで参加した実験的で革新的なエレクトロニック・ワールド。



### 【2023年12月20日 EP『紺地金色』リリース】

本作にはラッパーのRITTOが参加。沖縄の複雑な文化や歴史、深い誇り、未来への希望を鮮やかに描いた楽曲。ジャンルを超えた、まさに辺境からの強烈なメッセージを込めた本楽曲。リミックスにGuruConnect、LEF!!!CREW!!!が参加。



## zezecoから今回制作にあたってのコメント

## 【青木ロビン】

zezecoで自動音楽構築システム「AISO」のために楽曲を制作させて頂きました

前回発表した1stアルバム『燦然』の裏面のイメージで『朧光 (obscure light)』というタイトルでアルバムを作る感覚で制作を進めていたのですが、AISOの特性でもある数学的な作業に慣れるまでに時間がかかってやっとの完成となりました

曲を作って解体、偶然生まれる重なりを抽出して再解体、とパズルを作る側の作業というのは所謂曲を作るというのとは脳の置き所が違う作業で

- ・終わることのない音
- ・聞き続けても飽きがない
- ・でも毎回驚きがある

という一見混ざり合うことが無いようなコンセプトを再現させる中で、新たな閃きや、驚きに満ちた未知のzezecoの領域が開けた気がします

個人的にはジャズの即興演奏のようなハマり方をする箇所を特に注視して制作していて、コードの妙やリズムのズレが堪らないという時を何度も体験しながら、次はもう聞けないかもしれないという儚さがまた面白いと思いました。

時空を旅するように、形を変え続けるアルバム。新しい音楽体験が出来ると思います。是非聞いてみてください

## 【manukan】

今回AISOを使ってzezecoの作品を制作するにあたり、普通の楽曲制作のように完パケされた作品を作るのとは違い、AISOというデバイスに終わらないライブ演奏をさせるためのプログラミングを組むというような作業が必要なため、技術的な壁と思想設計のアジャストにかなり苦戦しながらの制作となりました。

BGMとは何か！？と概念的な疑問や、またその歴史やこれからの在り方、AISOがもつ「終わらない音楽」という特性やランダム要素をより意味をもって音楽的に落とし込む意義や可能性をロビンさん以外にも、AISO設計者でもありアーティストの日山さんとも何度も議論を重ね一歩ずつ手探り進めていきました。

途中納得できる表現方法に至れず、完成までに何度か白紙に戻してゼロからやり直しも致しましたが、最終的にはAISOを活用したzezecoの作品として自信を持ってお届けできるものができたと思います。

## 本リリースについてのお問い合わせ先

info@aiso.ooo までメールにてお問い合わせください。(担当：日山・津留)

## ■運営会社 概要

株式会社エコーズブレス

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-31-8 高田馬場ダイカンプラザ3階 312号室

<https://echoes-breath.com/>

2010年設立。

潜在する音/音楽の価値を見出し、それを具現化することで、さらなる体験を生み出す。これがエコーズブレスの務めだと考えています。これまでに「耳からも想いを伝える」という考えのもと「サウンドブランディング」を展開し ブランドムービー、TV/Web CM音楽を中心に手がけてまいりました。その成果はさらに拡がりつづけ、店舗/オフィス/アート展示室等の空間音楽、プロダクトサウンド、 インタラクティブサイネージなど、独自の表現手法で多分野にわたり音の可能性を提示しています。

主な仕事に、BMW 映像コンテンツ「with BMW」楽曲、中川政七商店「分店 服」「茶論」店舗BGM、FUJITECエレベーター「エクシオール」プロダクトサウンド、YAMAHA TVCM「感動創造系企業」楽曲、docomo「+d MART」店舗BGM、ALPINE カーナビ「ビッグX」プロダクトサウンド、映画「雨とひかり」楽曲提供など。また、代表日山豪自身の活動として、個展「音を鳴らすということ」「見えない展示」主催、自動BGM生成プログラム「AISO」システム開発、音×器のブランド「モノヲト」商品開発がある。そのほか東京藝術大学、佐賀県庁、エイトクリエイティブナレッジなど、大学、企業での講演も多数。